

入間小学校跡地の令和3年11月下旬の様子



※飯能信用金庫屋上より撮影

## ケヤキの後継木を作成中です

ケヤキの後継木の作成は、令和3年6月下旬にケヤキの枝を採取し、それを育成する方法で試みました。しかし、大木で木の力が弱っているケヤキからは若く幼い枝を採取できず、枝からの後継木の作成は難しかったため、現在はケヤキの種を採取して種

から苗木の育成を進めています。また、イオンリテール株式会社からはケヤキの加工品などにより、形を変えても身近な存在であり続けるような提案を検討していただいております。ケヤキはこれからも形を変えて入曽地区を見守り続けます。



## ご意見・お問い合わせ

狭山市 都市建設部 都市計画課 入曽駅周辺整備担当  
TEL : 04-2953-1111 (内線 : 2224)

HPは  
こちら



入曽まちづくりだより  
～緑と歴史豊かな お茶香るにぎわいのまち 入曽～  
2021年12月号 発行：狭山市 都市建設部 都市計画課



狭山市 七夕の妖精  
ふりひい



優しく上品に光る「茶箱」



商店の賑わいを駅前に発信する店内の灯り



※提案内容は現段階のものであり、今後の優先交渉権者や関係機関との協議により変更となる可能性があります。

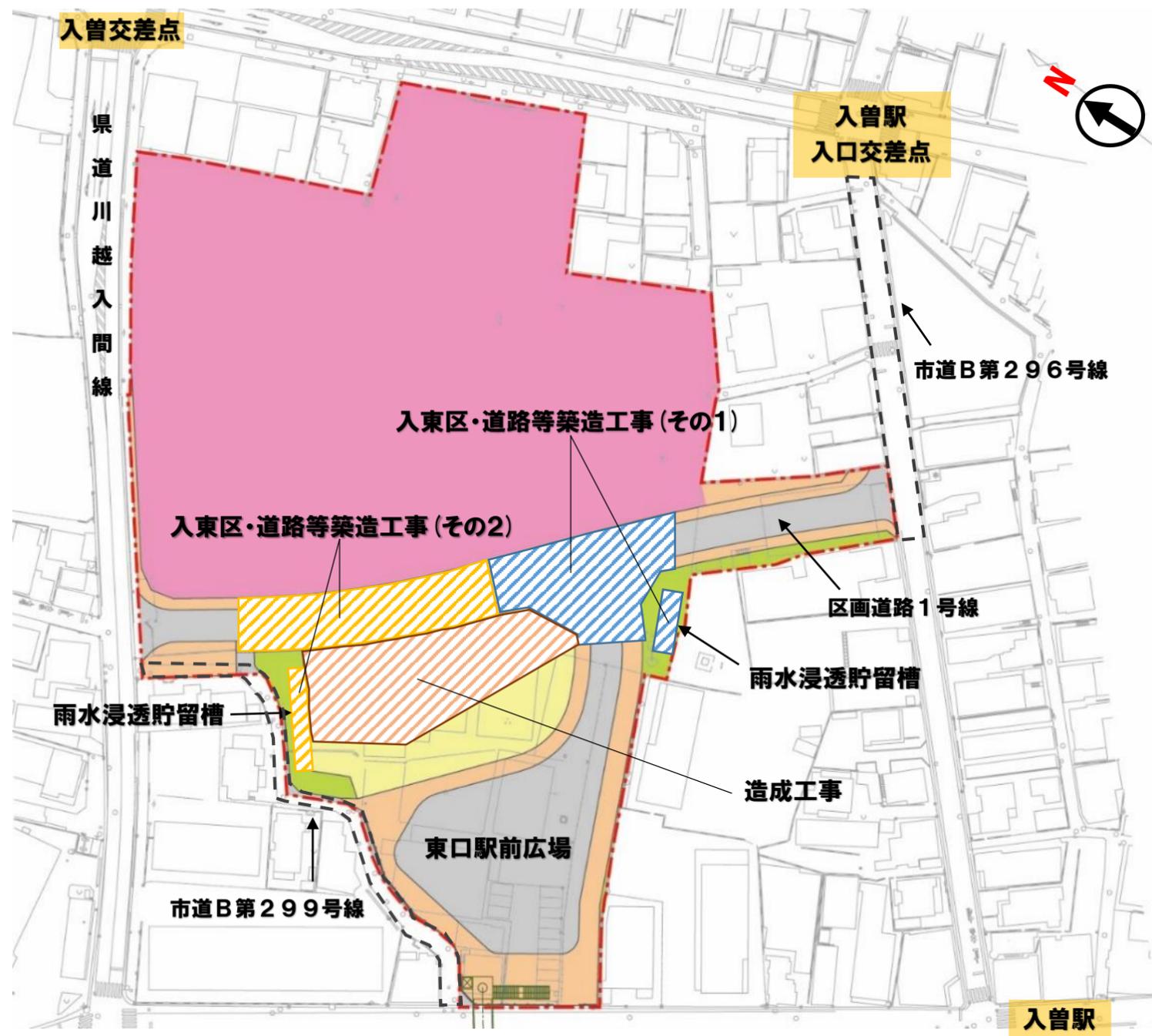
## より一層明るい街に

入間小学校跡地にイオンリテール株式会社を誘致します。今回は現在計画されている「そよら入曽(仮称)」の夜の姿を紹介します。新入曽駅東口から降りると夜の明かりに包まれた商業施設が温かく出迎えてくれます。優しく上品に光る「茶箱」、商業施設の賑わいを駅前に発信する店内の灯り。帰りの買い物が楽しみになる、入曽駅前を灯す夜のランドマークを作り出します。商業施設を起点に、より一層明るい街へと変わっていきます。

## 頼れる存在になります！

災害が起きた際には、イオングループのこれまでの実績と物流ネットワークを活かした取り組みが実施されます。一時避難所、救援・救護スペースや救援物資の供給だけでなく、施設自体が備蓄倉庫としての役割を担います。さらには、イオングループは国の機関や航空会社などとの連携を強化し、災害時の支援体制を構築していることから、入曽地区にとって、万が一の時にも頼れる存在になりそうです。

## 入間小学校跡地内で道路工事を行っています



### これからの工事予定

**令**和3年度は区画道路1号線の工事と、雨水浸透貯留槽2基の設置工事を中心に行っています。令和4年度以降は駅前広場工事に着手していき、区画道路1号線は舗装工事を行います。また、県道川越入間線の歩道拡幅工事、市道B第296号線及び市道B第299号線の拡幅工事も実施する予定です。

### 雨水浸透貯留槽とは？

**河**川改修や調整池の整備を進めることは、水害を防止するために必要です。当工事で設置する雨水浸透貯留槽は、雨水を地中に浸透させたり、一時的に貯留して徐々に雨水管に流すことにより、少しでも自然の循環システムに近づけ、下水道や河川に流出する雨水をできるだけ抑制する役目があります。雨水浸透貯留槽を設置することで、大雨に備え、水害を防止し、市民の皆様の生活を守ります。



## 雨水浸透貯留槽の設置の工程

普段はあまり見ることができない工事の様子はこちらです！

①土を掘り起こす際に周りの地盤が崩れないよう、土留めを行います。



②貯留槽を置くための土台をコンクリートでつくります。



③貯留槽本体を分割して運びます。



④貯留槽本体を分割して設置します。



⑤設置完了です。



☆ 貯留槽の内部写真 ☆

